

花実の森 活動報告(2025 年 10 月)

第165号

活動日 2025 年 10 月 25 日(土)	時間 8:30~12:30	天候 (晴)	記録者 (菅田)
参加者氏名 応募数12家族 35名 内子ども18名	【スタッフ】 里山花実の森：田路、樋口、菅田、中原、南木、塩ノ谷、橋野、伊牟田 本部：辻本、片山、小山、森下、中塚、塚原、能、中谷、大中、山本 救急ボランティア：2名 神戸常盤大学ボランティア学生（女性）：5名		
今回実施した 内容	親子カブトムシ生育観察会(2025 年第 3 回 幼虫探し) 親子自然環境体験型環境学習として企画し、(公財)こうべ市民福祉振興協会の協力を得て実施した 2025 年度『親子カブトムシ生育観察会』。年間を通して里山に棲むカブトムシの生育観察をしながら、里山を知り学ぶイベント。 今回は、今年度の 3 回目「秋の里山に育つカブトムシ幼虫観察」。 後半では、「小枝カブトムシづくり」を実施、出来上がったものは思い出とともに持ち帰ってもらった。		

写真記録



心配していた空模様も、今回は大丈夫。会場の受け入れ準備も着々と進む。



救急ボランティアのサポートが心強い。



今回も神戸常盤女子大学の学生さんがボランティア実習で参加、お手伝いをしてくれた。



受付で渡した今日のしおりに目を通す親子参加者。今回も「里山からのおくりもの」として、手作りの小枝・ドングリグッズをプレゼント。



ヘルメットのサイズ合わせ



ようこそ里山花実の森へ
今日はみんなで楽しみながらカブトムシ
の観察をやりましょう。



六甲山の自然環境のこと、里山の話、カブト
ムシの一生などのお勉強



さあカブトムシ幼虫がすむ場所へ案内
するよ。



イノシシ除けの網で囲まれた柵に案内。
7～8月に産卵⇒10日～2週間で孵化し1齢幼虫に⇒
2,3週間で脱皮し2齢幼虫に⇒1か月ほどでまた脱皮
し3齢幼虫に。今ここではその3齢幼虫が育っている
んだよ。どのくらいの大きさになっているのかな？



手袋は外さない
ように。ミミズ
やムカデもいる
からね。そうさ
う、ここへやっ
てきたとき、柵
の中に大きな土
ガエル(県の絶
滅危惧種)がいたね。





幼虫は柔らかい体なので、そっと優しく探していくんだよ。



幼虫を見つける子どもたちが始まった。



見つけた幼虫は一旦ここに。



ちょっと幼虫観察をしてみよう。

「足はあるかな?」「あるよ、ここに」「お腹の横にある9個の黒い点々はなにかな?」「???」
「カブトムシは口で息をするのではなく、この気門という黒い点々で呼吸しているそうだよ、びっくりだね」「ヒエ〜」

ちょっと紹介するよ。このケースの中には15匹ほどの幼虫が育っているそうです。これは、去年7月に参加してくれた家族が、持ち帰った成虫が生んだ卵から育てたカブトムシだそうで、今日里帰りを持ってきてくれた幼虫です。このあともこの里山で一緒に育てます。皆さんも来年は挑戦してみてください。

後半は小枝カブトムシづくりを楽しむ



カレッジ玄関わきの軒下で会場準備も完了

作業要領を手作りしおりの内容に沿って説明



事前に若干の加工をしたばらばらのパーツと、自在に足の形が作れる小枝の束をセットにしたものと、写真や見本を参考に作業開始。



まず足の位置を決めて・・・その上に体をのせる。



不明なところはスタッフに聞いてください。



少しずつカブトムシらしくなってきた。



木工ボンドとグルーガンは接着場所により使い分けるとやりやすいよ。



完成まじか・・・



ボランティア活動の実習？で参加された常盤女子大学のみなさんもお疲れさまでした。
楽しかったですか？

今回の製作見本



見本1:イーゼル式



見本2:卓上額縁式